

福島第一原子力発電所現地確認報告書

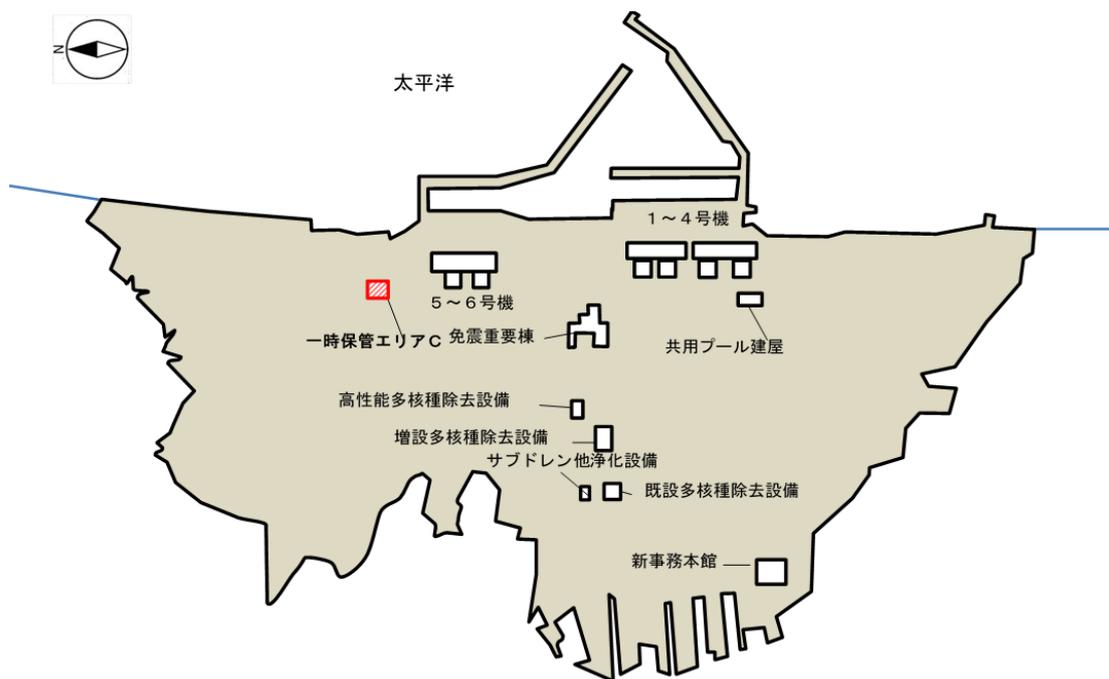
- 1 確認日
令和3年5月20日（木）
- 2 確認箇所
一時保管エリアC
- 3 確認項目
一時保管エリアCにおける廃棄物保管の状況

4 確認結果の概要

令和3年3月に物揚場排水路の簡易放射線検知器において「高警報」が発生した事象について、流域の一時保管エリアW2のコンテナ内容物の漏えいが原因と考えられたことから、東京電力では今後、内容物の把握が困難などとされるコンテナの調査を進めることとしている。前回（[令和3年5月13日](#)）の一時保管エリアE2に引き続き、今回、一時保管エリアCに立ち入り、コンテナ等の外観を確認し、一部のコンテナの表面線量率を測定した。

（図1）

- ・東京電力によれば、同エリアには内容物の把握が困難などとされるコンテナ1基を含む184基のコンテナが保管されている。（写真1）
- ・エリア出入口には門扉が設置されており、エリア出入口には空間線量率の測定結果が掲示されていた。（写真2）
- ・コンテナに記載された情報によれば内容物は復旧工事等が出たコンクリートガラ、金属くず等であり、確認した範囲ではコンテナの腐食や内容物の飛散、流出は見られなかった。（写真3）
- ・一時保管エリアCは表面線量率が0.1mSv/h以下のコンテナ等を保管するエリアであり、確認した範囲では表面線量率が0.1mSv/hを超えるコンテナ等は保管されていなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



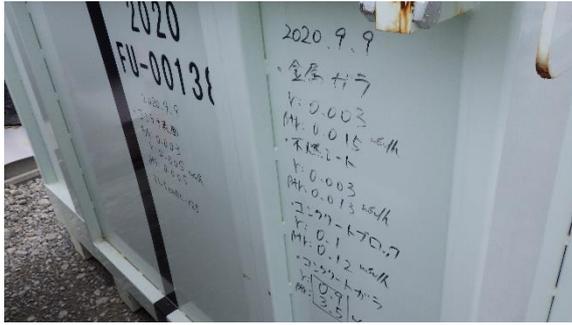
(写真1)
保管されているコンテナの一例
(エリア南側から撮影)



(写真2-1)
一時保管エリアC出入口の状況
(エリア南側から撮影)



(写真2-2)
写真2-1 (空間線量率測定結果) の
拡大



(写真3)

内容物が記載されたコンテナの一例
(エリア南側から撮影)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。